

事務事業名		ビジネス支援サービス事業			会計	一般会計					
課等名		図書館			事業種別	政策		開始	17	終了	
基本計画上の位置づけ		政策	2	地育力によるこころ豊かな人づくり							
		施策	28	学習交流活動の推進							
目的	対象(誰・何を)	市内に居住する成人			対象指標	指標名及び単位			24年度数値		
	意図(どういう状態にするか)	「地域や市民にとって役に立つ図書館」として、図書館の持っている情報蓄積と資料提供の機能を充実させ、地域住民の生活と仕事を支援する。				市内一般成人の数			85157		
	向上させたい上位施策の成果指標	学習活動を行っている市民の割合									
目標	種別	指標名及び単位			24年度計画	24年度実績	25年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)		
	成果指標	調べもの相談窓口相談件数			1500	1522	1500	1500			
	成果指標	社会・経済・産業関係部門の蔵書冊数			45000	48743	49500	52000			
	定性目標										
事業概要	図書館の持つ豊富な蔵書と資料提供の機能を最大限活用し、生活と仕事に役立つ情報支援の充実を図る。										
事業内容					名称			活動指標			
24年度事業内容	1 専門図書の購入				1 図書購入冊数			1 162冊			
	2 「調べもの相談」窓口対応				2 調べもの相談窓口対応件数			2 1,522件			
	3 データベースの活用				3 データベース契約件数			3 2件			
	4 中学校向けキャリア教育用図書リストの更新				4 中学校向けキャリア教育用図書リスト更新			4 1件			
	5 キャリア教育受け入れ企業・団体等へのアンケート実施				5 アンケート回答数			5 108件			
事業コスト		23年度決算額	24年度予算額	24年度決算額	25年度予算額	特定財源内訳、補足					
事業費計(千円)①		494	469	467	436						
国庫支出金											
県支出金											
起債											
その他											
一般財源		494	469	467	436						
人件費計(千円)②		12,158		12,158							
正規職員所要時間		3,400		3,400							
臨時職員所要時間											
総事業費①+②		12,652	469	12,625	436						
事業内容・目標達成状況の振り返り	選書は、実用書を中心に選書を行い、調べもの相談窓口については有料データベースや、新たに導入した新聞閲覧システムが活用されている。キャリア教育用の図書リストは、各中学校で参考にしており貸出も行われたが、内容について更新をしていく。										
改革改善の考え方	①問題点	現在使用しているデータベースに加え、利用の多い新聞データベースについて、検討が必要となる。									
	②改革提案	有料データベースの導入は利用頻度を鑑みながら進める。									